

## 気象学会の新しいレター誌 SOLA 創刊と投稿受付開始のお知らせ

気象学会では来年1月からの掲載開始を目前に、電子ジャーナル版英文レター誌 SOLA を創刊する事になりました。SOLA は、科学技術振興機構 (JST) が運営する科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE) をプラットフォームとした電子ジャーナルで、電子ジャーナルの利点である速報性と流通性を最大限追求した A4 版 4 頁の論文からなるレター誌です。現在、SOLA 運営部会では、創刊に向けた準備を進めている所ですが、いよいよ10月1日より、投稿受

付を開始する事になりました。気象学会会員の皆様を始め、広く大気科学を対象領域とする数多くの研究者からの、積極的な投稿をお願いいたします。英文レター誌 SOLA と SOLA への投稿に関する詳しい情報は、学会ホームページ (<http://www.soc.nii.ac.jp/msj/index.html>) の定期刊行物案内をご覧ください。また、次頁に SOLA 編集委員会の一覧と編集規定を掲載いたします。

(SOLA 編集委員会)

**A NEW INTERNATIONAL ELECTRONIC JOURNAL**  
*by the Meteorological Society of Japan*

# SOLA

*to be published in January 2005!*

**Special Features**

- ! Electronic Journal on J-STAGE<sup>\*1</sup>
- ! Open-Access and Free-Download
- ! Quick Review, within 2 Months for Disposition

\*1: Web site (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/>)

**Aims and Scope**

The purpose of SOLA is to electronically distribute in a rapid manner the scientific discoveries, new findings and advances of understanding in the atmospheric and related sciences, especially in the interdisciplinary crossover areas.

**Submission Information**

Submission is to be accepted from Oct. 1, 2004.  
 Submission information is available at the MSJ web site:  
<http://www.soc.nii.ac.jp/msj/index-e.html>

**Scientific Online Letters on the Atmosphere**  
 Published by the Meteorological Society of Japan

## 日本気象学会電子レター誌「SOLA」編集規定

2004年10月1日

日本気象学会電子レター誌「SOLA」編集委員会は、以下の編集規定に基づいて電子レター誌「SOLA」の編集を行う。

### 1. 名称

本誌の正式な名称を「SOLA」とする。この名称は「Scientific Online Letters on the Atmosphere」の略語である。

### 2. 目的

本誌は、大気科学全般と大気科学を含むクロスオーバー領域における先端分野の研究成果を、電子媒体により広くしかも迅速に読者に伝達し、学術的な情報交換に貢献することを目的とする。そのため、電子ジャーナルとしての速報性、流通性を最重視し、英文国際誌として活用されることを目指す。

### 3. 組織

本誌発行のため、日本気象学会は電子レター誌「SOLA」編集委員会（以下、編集委員会と呼ぶ）を設置し、理事がその委員長を務める（日本気象学会細則第19条による）。編集委員会は運営委員と編集委員からなり、運営委員は運営部会を構成する。委員長は運営委員及び編集委員の委任・解任を決定する権限を有する。運営委員は必要に応じて運営部会を開催し、「SOLA」の編集発行および管理運営に責任を持つ。編集委員は論文の査読・審査に責任を持ち、採否決定の権限を有する。委員長は運営部会に編集副委員長と庶務を置き、実務補助のための編集補助員を雇用することができる。

- 1) 編集委員長は編集委員会を組織し、必要に応じて運営部会を招集し、本誌の発行に責任を持つ。編集委員長は著者に対しての窓口となり、投稿論文を受付け、担当編集委員と担当運営委員を決定して論文審査を委任し、審査結果を著者に報告する。
- 2) 編集副委員長は編集委員長がその職務を遂行できない場合にそれを代行し、編集委員会の円滑な運営と改善に努める。

- 3) 運営委員は、編集委員による論文審査に対し、公正な評価の堅持と掲載論文の学術水準の向上に努める。運営委員は編集委員による採否判定報告および編集委員コメントを確認し、問題があれば編集委員長に報告する。
- 4) 庶務は編集委員長を補佐して運営部会の議事を検討し、編集発行会計に関わる庶務を担う。受理原稿に対し、英文校正、技術校正、著者校正を行い、電子ジャーナルとして登載するまでの編集過程を担当する。
- 5) 編集補助員は編集委員長および庶務を補佐し、投稿論文のデータベース管理、論文審査のスケジュール管理、技術校正、編集発行に関わる雑務を担当する。

### 4. 編集

投稿論文の審査編集は、インターネットを用いた電子ジャーナルシステム(J-STAGE)をプラットフォームとし、以下の手順で行う。投稿から受理/不採用の判定までを2か月以内に収めることを目指す。

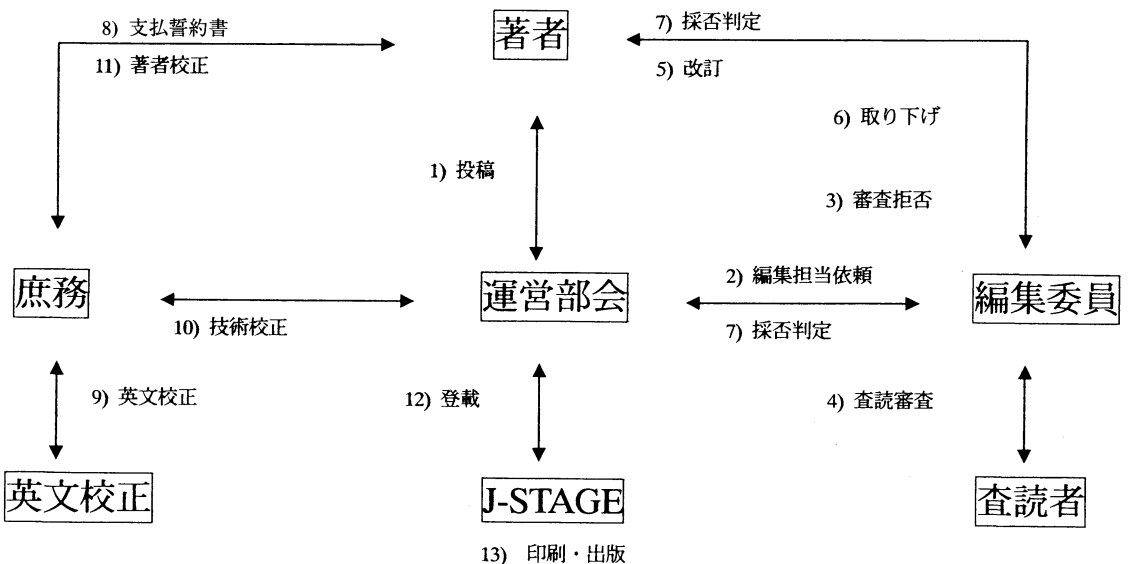
- 1) **投稿**：著者は「SOLA」投稿規程（学会ホームページ参照）に従い、投稿原稿を編集委員長宛てに投稿する。その際、著作権移譲誓約書を添付し、希望する担当編集委員名（2名）と査読候補者名（5名）を明記する。
- 2) **編集担当依頼**：編集委員長は論文受付日、論文番号を記載し、投稿論文の内容を吟味し、担当編集委員および担当運営委員を決めて原稿を転送し、著者に対しては論文受付日、論文番号、担当編集委員名を通知する。
- 3) **審査拒否**：担当編集委員は投稿規程にそぐわないもの、内容や英文が本誌の学術水準にないと判断されるものについて、査読に送る前に担当編集委員の判断で審査を拒否し、不採用通知を編集委員長に報告することができる。
- 4) **査読審査**：担当編集委員は査読者（2人）を決めて投稿論文を転送し、査読を依頼する。その際、査読基準を保つため、定められた審査フォームを添付する。査読は2週間で済ませる。

- 5) 改訂：担当編集委員は査読結果を著者に転送する。査読者の意見を参考に、担当編集委員としての判断を必ず書き添える。改訂は2週間で済ませる。
- 6) 取り下げ：著者は担当編集委員による採否判定の前に、投稿論文の取り下げを行うことができる。また、決められた期限内に改訂が行われない場合、投稿論文は自動的に取り下げと見なされる。
- 7) 判定通知：担当編集委員は受け付けから2か月の期限内に投稿論文の採否の判定を行い、判定理由、査読者名や審査フォームによる査読評価等の論文評価を書き添えた編集委員コメントを編集委員長に日付を明記して報告する。論文が受理された場合、この報告書の一部は編集委員コメントとして論文とともに掲載される。編集委員長は編集委員コメントを担当運営委員に送り、報告内容の確認を依頼する。著者への採否判定通知は担当編集委員が行う。
- 8) 支払誓約書：受理の場合、編集委員長は受理論文を庶務に転送し校正および登載を依頼する。庶務は支払誓約書と別刷り情報を盛込んだ著者フォームを著者に送付する。
- 9) 英文校正：庶務は著者から受理原稿や原図を取り寄せ、業者に受理論文の英文校正を依頼する(到着後1週間以内に終了)。
- 10) 技術校正：庶務は英文校正の済んだ論文に技術校正を行い、本誌の書式に統一した後に業者に入稿し、電子ジャーナルシステム(J-STAGE)への仮登載を依頼する(到着後1週間以内)。
- 11) 著者校正：庶務はインターネット上に仮登載された論文を著者に通知し、著者校正を依頼する(到着後1週間以内)。
- 12) 登載：著者校正の済んだ論文について編集委員長は最終確認を行い、必要があれば加筆修正を行う。編集委員長は校了を確認し、電子ジャーナルシステム(J-STAGE)へ登載を依頼する(到着後1週間以内)。
- 13) 印刷・出版：電子ジャーナルとしての本誌は、別刷等の紙媒体として印刷保存され、必要に応じて出版も行う。

5. 規定の変更

この編集規程の改廃は運営部会で審議し、編集委員長の承認を得て決定する。

<編集プロセス>



(SOLA 編集委員会)

## SOLA 編集委員会

2004年9月1日

## 運営部会

編集委員長	田中 博 (筑波大学)	運営委員	新野 宏 (東京大学海洋研究所)
副編集委員長	木田秀次 (京都大学)	運営委員	里村雄彦 (京都大学)
庶務	三上正男 (気象研究所)		

## 編集委員 (ABC 順)

青木輝夫 (気象研究所)	中澤高清 (東北大学大気海洋変動観測研究センター)
遠藤昌宏 (東京大学気候システム研究センター)	中澤哲夫 (気象研究所)
廣岡俊彦 (九州大学)	及川武久 (筑波大学)
岩坂泰信 (名古屋大学)	Chung-Kyu Park (韓国気象庁)
In-Sik Kang (ソウル国立大学)	高橋 劭 (桜美林大学)
神沢 博 (名古屋大学)	高藪 縁 (東京大学気候システム研究センター)
川村隆一 (富山大学)	谷本陽一 (北海道大学)
木本昌秀 (東京大学気候システム研究センター)	津田敏隆 (京都大学生存圏研究所)
鬼頭昭雄 (気象研究所)	露木 義 (気象庁)
近藤裕昭 (産業技術総合研究所)	齊藤和雄 (気象研究所)
近藤 豊 (東京大学先端科学技術研究センター)	石 廣玉 (中国科学院大気物理研究所)
Mankin Mak (イリノイ大学)	John E. Walsh (アラスカ大学フェアバンクス校)
向川 均 (京都大学防災研究所)	吉崎正憲 (気象研究所)
中尾正義 (総合地球環境学研究所)	

## 編集アシスタント

本田恭子 (筑波大学)	黒崎泰典 (気象研究所)
-------------	--------------